

『都市計画』

猿島都市開発、MASHIRA リゾート模型の制作

県立神奈川工業高等学校 建設科 3年2組
生徒氏名：加地 桜、川口 葵、佐藤 結

1 はじめに

今回の課題研究で無人島の都市計画をしたい3人が集まりました。都市計画を進める土地を探していく中で、神奈川県横須賀市にある猿島を見つけました。都市計画をするにあたり、模型を制作することにしました。

猿島はレジャーに適する無人の自然島です。映画『天空の城ラピュタ』を連想させるとして人気を集めており、仮面ライダーの撮影ではゲルショッカーの聖地があることでも知られています。

しかし多くの人から愛されている猿島ですが、ホテルなどの宿泊施設がないため、夜の猿島を見ることができません。そこで私たちは猿島にリゾートホテルを設計することにしました。

2 活動スケジュール

4月～7月上旬まで、コロナウイルスの影響で作業に取り掛かることができませんでした。

【7月中旬～ 材料、資料集め】

- ・横須賀市役所に行き、猿島の地図をもらう。
- ・模型に必要な材料を集める。

【8月（夏休み） 土台作り・CAD】

- ・スチレンボードで模型の土台を作り、尺度を考えながらCADでリゾートホテルを設計。

【9月 模型作り（リゾートホテル）】

- ・完成したCADをもとにホテルの模型を作成。

【10月 模型作り（コテージ）】

- ・完成したCADをもとにコテージの模型を作成。

【11月 模型の仕上げ】

- ・土台に芝生シートを張ったり、海を作ったりして模型全体の仕上げをした。

【12月 PowerPointの作成】

- ・発表原稿をPowerPointで作成。

3 活動内容

【目的】

- ① 無人島である猿島を観光地としてもっと有名にする。
- ② 土地の良さを最大限に生かした過ごしやすい空間を設計し模型を制作する。

【使用材料】

- | | |
|----------|--------------|
| ・スチレンボード | ・カッター |
| ・紙粘土 | ・ハサミ |
| ・接着剤 | ・発泡スチロールカッター |
| ・ヤスリ | ・芝生シート、草 |
| ・セロハン | ・針金 |
| ・絵の具 | ・砂 |

【作業内容】

① テーマ決め

無人島を観光客でいっぱいに行けるような都市計画をすることにしました。

② 島決定

人気な自然島でありながら、宿泊施設がないため日中しか楽しめないことが問題点である神奈川県横須賀市の猿島に決定しました。



③ 地図・材料集め

横須賀市役所に猿島の白地図があるか電話で確認し、もらいに行きました。また、材料を買いに行ったり、大きくて運べないものは業者に発注し、運んでもらったりしました。

④ 模型作成

地図をもとに採寸をして土台を作りました。その後、CADで設計した図面をもとに、リゾートホテルとなる部分とコテージとなる部分の模型を作成しました。



⑤ 仕上げ

リゾートホテルやコテージに木目調の壁紙を張ったり、島全体に芝シートを張ったりして自然豊かな雰囲気を作りあげました。また、セロハンで海を表現し、魚のシールで海らしさを出しました。



⑥ 模型完成・発表準備

完成した模型の写真を撮影し、PowerPointで一年間の活動をまとめました。写真を撮影する際には、黒い布で模型の周りを覆い、日光が当たらないように部屋のカーテンを閉めることがポイントです。



4 まとめ

私たちは、この3年間で学んできたことを活かした作品を制作したいと考えていました。自分たちが考えていた通り、製図の授業で学んできたエスキス、CADをしっかりと活かして都市計画を進め、一年生の実習で習っていた模型製作のおかげでスムーズに作業をすることができました。コロナウイルスの影響で、二年生の頃に計画していた予定の通りには進めることができませんでしたが、3人で協力し、夏休みや休日にも作業をしていたので完成させることができました。今回の猿島のような大規模な土地の設計は今までしたことがなかったので、尺度を考えたり実際の大きさを想像したりすることがとても難しかったです。もし、本当に自分たちの考えた島ができるとしたら、また行きたい、心が癒されるなど、訪れた人にそう思ってもらえる観光地にしたいと考え、3人で様々な工夫をしました。誰かを喜ばせられるような場所を設計することは少し難しかったけれど、とても楽しかったです。